

2026 年 9 月入学式式辞(学部・大学院共通)

2026 年 9 月 26 日

本間 敬之

新入生のみなさん、ご入学誠におめでとうございます。また、皆さんをこれまで育て、そして支えてこられたご家族やご親族の皆様にも、早稲田大学を代表して心からお慶びを申し上げます。このたび、晴れて入学されたのは、学部生 492 名、大学院生 635 名の合計 1,127 名であり、そのうち、およそ 75%の方は海外からの留学生です。私は丁度 5 日前の 9 月 21 日に第 18 代総長に就任致しました。また、この壇上の大学理事や研究科長はじめ執行部のメンバーも多くはこの日に新しく就任しています。従って、この入学式も我々にとっては初仕事であり、世界各地から多くの優秀な皆様を早稲田にお迎えし、本日この入学式で一緒に新たなスタートを切れることを、我々一同も大変嬉しく思っております。

早稲田大学は 1882 年に創立された、日本でも伝統のある大学です。当時の日本は明治維新以来の大改革、激動のただ中にありましたが、創立者大隈重信らは、自由で独創的な学問を究め、日本に適した制度をつくること、またそれを通じて、自立した精神と高い倫理観を備えた「よき市民」を育成しなければならないと考え、本学を創立しました。この建学の精神は、「早稲田大学教旨」、すなわち「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」としてまとめられています。そして、これに共鳴する若者が集まり、創立時には 80 名の学生からスタートした早稲田は、現在ではおよそ 50,000 名が在籍し、また卒業生は 70 万人となり、世界中の幅広い分野で活躍しています。今日から皆様もその一員として、是非思う存分早稲田での生活を満喫してください。

皆さんは、まずそれぞれの専門分野での学修を深めると共に、専門分野の垣根を超えて提供されている多様な学びも積極的に活用してください。留学生の皆さんには、日本語教育研究センターに様々なレベルの日本語のプログラムが用意されています。グローバル・エデュケーション・センターでは、語学、データ科学関連、さらに体育の実技まで、約 2,400 科目を用意しています。またボランティアセンターには様々なボランティア活動やフィールドワークなどの体験型学習も揃っており、さらに学内には博物館など文化的な施設も多くあります。それから、早稲田はスポーツも盛んです。丁度今大学野球の秋のシーズンが始まったところですが、駅伝やラグビーなど、全国的に注目度の高いものはもとより、44 の体育各部がそれぞれ活躍しています。ぜひ応援して、早稲田の一員になった一体感を持って下さい。

このように早稲田には、とても多彩な環境が用意されていますが、これをどのように活かしていくかは、皆さん次第です。是非積極的に前に進んで行ってください。ここで、これから皆さんが学生生活を始めるにあたり、心掛けてほしいと

思うことを四点申し上げます。

一つめは、まず自分から動き、実践的に様々なことに挑戦してみてください。何か新しいことをやる時には、どうしても失敗したらどうしよう、といった不安がつきものですが、創立者・大隈重信は「諸君は必ず失敗する。成功より失敗が多いが、それに落胆せずに、失敗から大切な経験を得て、成功を期さなければならぬ」と説いています。是非失敗を恐れずに挑戦し、実践的な経験を積んで下さい。

二つめは、「ほんもの」に触れて、自分自身の知性と感性を磨き鍛えて下さい。今は色々なものの代替品が手軽に入手でき、またバーチャルリアリティの技術も進展しています。これらは大いに活用すべきですが、やはり本当の本物に触れることが大事です。

人と出会い、実際にその場に足を運び、ものに触れ、出来事を自ら体験する。そうした「ほんもの」との直接的な出会いを通じて、私たちは五感を働かせ、画面越しや仮想的な体験からは得られない、多くのことを学ぶことができます。

"バーチャルリアリティ"と"リアルリアリティ"の違いを見極められるよう、五感をよく研ぎ澄ませるようになることを意識してください。

三つめは、世の中をよく知り、俯瞰力を養うことを心掛けて下さい。今世界はどうなっているのか、何が起きているのか、社会は？経済は？地球環境は？といったことにも、日々目を向けて下さい。今日のネットワーク技術は、欲しい情報をピンポイントですぐに得られるようになっていますが、点の集まりは点でしかありません。点から線へ、線から面へと視野を広げ、俯瞰力を身に着けることを心掛けて下さい。

そして四つ目は、多くの仲間と十分に触れ合い、互いの価値観を尊重しながら議論し、磨きあうことを心掛けて下さい。生成 AI は皆さんの言うことに反対意見は言わないでしょうが、生身の仲間は必ずしもそうではありません。時に意見が異なりぶつかることもあるでしょう。しかし、そのような体験から多くのことを学べるはずで、もちろん相手を思いやる気持ちは忘れずに、大いに仲間と議論してください。

この四つのことを実践しながら、早稲田での学生生活を存分に楽しんでください。そして、世界に貢献するために必要な知識、判断力、そして能力を身につけるのだという、強い目的意識を持って、学生生活を送ってほしいと思います。

最後に、大学は多くの仲間が集まり、互いに学び、刺激し合い、自らを磨く、かけがえのない場でもあります。早稲田で過ごす時間は、長い人生の中ではわずかな時間ですが、卒業後に世界のどこに行っても心の中にあり続け、いつでも戻

ることができる。そして、自らの歩みを確かめ、次の行く手を見出す力となるでしょう。是非思う存分によい時間を過ごしてください。これから始まる皆さんの早稲田での生活が実り多いものであるように、一緒に進んでいきたいと思っています。

改めまして、ご入学本当におめでとうございます。